

ながら町議会だより

編集 長柄町議会広報編集特別委員会

第2回 定例会

令和5年長柄町議会第2回定例会は、6月14日に開催されました。

提出された議案等は、報告1件、承認3件、議案2件、請願2件、発議案2件ですべて原案のとおり承認、可決されました。

第2回定例会 議案等審議結果一覧

議案名	議員名	結果			佐久間 繁英	神崎 清美	高橋 智恵子	岡部 弘安	鶴岡 喜豊	池沢 俊雄	三枝 新一	本吉 敏子	星野 一成	柴田 孝	古坂 勇人	
		議決 結果	賛成	反対												
承認 第1号	専決処分の承認を求めることについて(長柄町税 条例等の一部を改正する条例の制定について)	原案 承認	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認 第2号	専決処分の承認を求めることについて(令和 5年度長柄町一般会計補正予算(第1号))	原案 承認	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認 第3号	専決処分の承認について(令和5年度長柄町 一般会計補正予算(第2号))	原案 承認	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第1号	長柄町都市農村交流センターの設置及び管理 に関する条例の一部を改正する条例の制定に ついて	原案 可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案 第2号	令和5年度長柄町一般会計補正予算(第3号) について	原案 可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議案 第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見 書	原案 可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議案 第2号	国における2023年度教育予算拡充に関する 意見書	原案 可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は裁決に加わらないため「—」で表示

報 告

報告第1号 令和4年度長柄町一般会計繰越明許費繰越計算書について

戸籍・住民票に関する事業他6件について繰越計算書を調製し報告するものです。

専決処分

承認第1号 専決処分の承認について（長柄町税条例等の一部を改正する条例の制定について）

地方税法等の一部を改正する法律が令和5年3月31日に公布されたことに伴い、長柄町税条例について一部を改正する条例を制定し同日付けで専決処分をしたものです。

承認第2号 専決処分の承認について（長柄町一般会計補正予算（第1号））

予算現額に3,211万7千円を追加し、補正後の予算総額を40億4,911万7千円とするものです。令和5年度当初予算の審議における住民教育常任委員会との協議による、子育て支援金事業の拡充を行うとともに、本年度も新型コロナウイルス感染症に伴うワクチン接種事業を国主導で実施することが決定したため、これに係る経費について予算計上を行ったものです。

承認第3号 専決処分の承認について（長柄町一般会計補正予算（第2号））

予算現額に40万4千円を追加し、補正後の予算総額を40億4,952万1千円とするものです。6月24日開催の新公民館完成記念式典において、県誕生150周年記念事業補助金を活用し、来賓・出演者等への記念品及びフルオープンを周知するポスターの制作に係る経費について予算計上を行ったものです。

条例の一部改正

議案第1号 長柄町都市農村交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

都市農村交流センターの町営プールについて、町内在住の小学生以下を対象にプールの利用料を無料にするため、所要の改正を行うものです。

補正予算

議案第2号 令和5年度長柄町一般会計補正予算（第3号）について

予算現額に5,876万円を追加し、補正後の予算総額を41億828万1千円とするものです。国の物価高騰対策として、低所得世帯へ一律3万円の給付、低所得の子育て世帯へ子供1人あたり5万円の給付を行います。また、同様に県の支援策として、小中学生の子を持つ世帯へ子供1人あたり1万円の給付、町の独自策として、0歳から6歳までの子を持つ世帯へ子供1人あたり1万円の給付を行います。

このほか、町内3地区の自治会集会施設の新築、改築を行うための補助金をはじめとした経費を予算計上するものです。

請 願 ・ 議員発議

今定例会に次の請願が提出され、本会議での審議の結果、全会一致で採択されました。

また、採択された請願に係る意見書の提出については、議員発議の発議案として審議され、全会一致で可決し、関係行政庁へ意見書を提出しました。

件 名	請 願 者	紹介議員	結 果	
請願第1号 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 田中 弘美	星野 一成	採 択	全会一致
請願第2号 「国における2024年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 田中 弘美	星野 一成	採 択	全会一致



一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。

6月定例会では、5人の議員が町政課題への提言や質問を行いました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容を掲載します。

なお、質問者本人の原稿をそのまま掲載しています。

さくま しげひで
佐久間 繁英 議員
(P13)

1. 諸物価高騰の対応策について
2. 害獣対策について

さえくさ しんいち
三枝 新一 議員
(P14)

1. 小学校統合について
2. 人口減少問題について
3. 特産品開発事業について

もとよし としこ
本吉 敏子 議員
(P15)

1. 新型コロナ感染の今後の対応について
2. 町営住宅の対策について
3. 交通安全について
4. 通学路の安全対策について
5. 教育環境の整備について

いけざわ としお
池沢 俊雄 議員
(P16)

1. 自治会からの要望事業の実施は、どのような基準で採択されているか、また過去5年間の要望事業の予算額の推移について
2. 県道日吉誉田停車場線の拡幅に係る県当局への要望の経過と今後の方針について、また、広域最終処分場の県道との取付工事及び町道改良工事の年次計画について

かんざき きよみ
神崎 清美 議員
(P17)

1. 人口減少について

一般質問

— 議員5名が町政を問う —



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。スマートフォンはこちらから。

佐久間 繁英 議員（一問一答方式）

1 諸物価への対応策

問 議員

町民の生活を守る観点から、昨年に引き続き地域応援券の発行を提案するが町の考えを伺う。

答 町長

ご提案いただいた地域応援券は、昨年11月に地方創生臨時交付金を活用し、町民1人当たり8千円分の応援券を発行したものである。

実績は、約5千万円が町内で消費され、物価高騰に伴う家計負担の緩和対策として高い効果が得られたものと評価しており、同時に、町商工業の経済的効果も得られたものと推察する。

このようなことから、今回も広く町民全体に対して支援が行き届く「地域応援券」を発行したいと考えている。ただし、1人当たりの発行金額

は、その他の支援策も含め現在、検討のため、追って皆様にお示ししたい。

問 議員

昨年度発行した地域応援券の利用率を伺う。

答 産業振興課長

商工会に対する換金率で97.13%である。

問 議員

町長の答弁で「その他の支援策」という言葉があったが、町で考えているものがあれば教えていただきたい。

答 企画財政課長

現在考えているのは、千葉県独自の取組として、小中学生と高校1年生を対象に、1人につき1万円を支給する子ども成長応援給付金を実施されることになっており、それに併せ、小学生未満の子供に対する支援を市町村で行い、一体的な形とすることにより支援の補完を図るとい

うことを目的として、千葉県のほかから、54市町村に対して、検討の依頼があった。

これにより町内在住の0歳から6歳を対象として、県と同じく、1人につき1万円を支給する、子どもの成長応援給付金を支給したいと考えている。また、病院等医療施設と高齢者施設及び薬局等に対して、今年度も支援金を支給する方向で、茂原市長生郡医師会に係る長生管内7市町村で現在調整中である。額は令和4年度の支給額の約半額程度とする方向で調整を図っているところである。

2 害獣対策について

問 議員

一般の民家にも、イノシシ等の害獣が侵入してきているという話を数人から伺ったが、これについて、町として害獣対策の考えを伺いたい。

答 町長

害獣対策は、地域の皆様のご協力が不可欠である。町としては、潜み場となる、やぶ

の刈り払いなどの集落環境の改善や、無意識の餌付け行為をしないため、生ごみ、放棄果樹や野菜などの適正処理など、地域でできる害獣対策の周知に努めるとともに、引き続き、狩猟免許受持者及び町猟友会の協力体制の下、イノシシなどの個体捕獲活動を粘り強く継続し、イノシシなどの個体数の減少に努めたい。

問 議員

イノシシ等の害獣による人的被害の報告を受けているか。

答 総務課長

今のところそのような報告は届いていない。

問 議員

人的被害がないことは幸いだが、これだけ害獣が増えるとなると、田畑あるいは宅地、または道路等にも出没している中で、人的被害がいつ出るかわからないと思う。

農地は、産業振興課、宅地等は総務課の所管という管理問題等があるかと思つが、

これだけ増えた中でどうしようもないということではなく、何かできないかというような視点に立って、害獣対策を進めていただければと思う。

私も、これを機会に、先達の事例などを調べ、勉強をして、町に住み続けていくための問題、課題を、互いに共有しながら、今後、こういった害獣等々についての対応策を一緒にやっていければと考えている。

答 産業振興課長

町としても、他の取組事例などを含め、勉強し、議員の皆様と共有を図りながら関係部署、関係機関と連携して、課題解決に取り組んでいきたい。



三枝新一議員（二問一答方式）

1 小学校統合について

問 議員

年々少子化が進んでいる現在、小学校に入学する児童も減少している。本町にある小学校2校の在り方が問われるときが来ていると考える。そこで3点伺う。

①2校の統合についての町の考え

②長柄町小学校の在り方検討委員会が発足し1年半が過ぎたが、検討委員会の開催回数、及び検討内容等について

③こども園、小学校の保護者、小学校五、六年生等々に行ったアンケート調査の集計結果について

答 町長

①中・長期的な児童数の減少を踏まえ、将来的に統合が一つの選択肢になり得ると考え、長柄町小学校の在り方検討委員会に検討をお願いして

いるところである。

今後、回委員会での検討を経た答申を受けて判断したい。

②これまでに2回開催し、近々3回目を予定している。

検討内容は、町内小学校の現状の確認、アンケート内容の精査等である。

③統合については、全体で約60%が統合に賛成、約30%が分らない、約10%が統合に反対という結果が得られた。

2 人口減少問題について

問 議員

少子高齢化が叫ばれて久しく年月が経過しているが、人口減少に歯止めがかからない現在、2点伺う。

①今後どのような施策を考えているか伺う。

②本年4月現在、本町の人口が6,500人を割り、数年

後6,000人割が目の前に迫っていることに対し、どのような対応を考えているか伺う。

答 町長

①昨年12月から、こども園と小中学校の給食費の無償化を実施し、また今年度からは新たに子育て支援金事業を開始するなど、子育て支援を拡充し、さらなる環境整備に取り組んでいる。

また進学などで一旦出ても、また戻ってきてもらえる仕組みづくりや環境づくりも重要なのではないかと考えていることから、今年度、長柄町奨学金返還支援制度を開始した。

②人口減少の抑制に主眼を置いた長柄町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた理念、目標及び80の戦略的事業を一つ一つ着実に実行し、積み上げた政策との連携を図っていくことが重要であると考えている。

3 特産品開発事業について

問 議員

令和5年度予算に、新たな特産品の開発に100万円の予算を計上している。そこで3点伺う。

①新たな特産品をどのような方々と、どのような商品を考えているか伺う。

②いつまでに商品化するのか、スケジュールを伺う。

③現在の進捗状況を伺う。

答 町長

①昨年度に新たな特産品開発に係る研究業務として、産直太陽、太陽ファーム、パティシエール・ナオ、ふるさとネット、そのほか町内企業と連携し、農産物等町内産品を活用した特産品の開発を調査研究した。

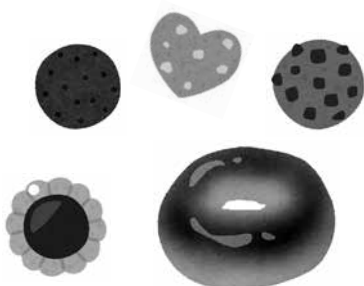
考えられた特産品としては、米粉を活用した特産品。もう一つは、町内産の杉を使った工芸品である。

②関わっていただいた町内企業では、昨年中にシフォン

ケーキやクッキー、ケーキ、ガトーショコラ、ベーグル、唐揚げ弁当などを試作し、そのほとんどが商品として販売されていると聞いている。

③抜き出た特産品のない本町では、今行っているような取組がきっかけとなり、皆でふるさと産品をつくり上げていくという形ができることが目標である。

これが一つできたら終わりではなく、工夫などから商品が出続けていくこと、そしてほかにも協力してくれるお店などを増やし、町中に広がる形となることが理想ではないかと考えている。



本吉 敏子 議員（一問一答方式）

1 新型コロナ感染の今後の対応について

問 議員

5 類移行後の町の対応について伺う。

答 町長

ワクチンの接種を推奨していききたい。また、感染拡大が予想された場合は、国や県の動向を注視しながら、これまでの取組を参考に、感染対策を講じていきたい。

2 町営住宅の対策について

問 議員

①住宅の現状（老朽化）について伺う。
②町営住宅の問題点について伺う。
③今後の町営住宅の対策について伺う。

答 町長

①味庄団地は木造、築年数30年となり耐用年数を迎えた。

第3に、本来は家賃収入により賄うべき住宅の維持について、築年数補正により家賃が減価されることや、世帯収入の減もあり、家賃収入が減少していることから、町の財政負担の増加が挙げられる。

日吉団地鶴谷住宅はプレキャストコンクリート造、築年数39年、耐用年数まで6年である。同団地立烏住宅は鉄筋コンクリート造、築年数37年、耐用年数まで33年である。

刑部団地はコンクリートパネル造、築年数49年で耐用年数を超えている。

②第1に、老朽化に伴う維持費の増加は顕著で、日吉団地立烏住宅は、以前からのカビ問題に加え、令和元年度豪雨被害で被災したため床面が著しく損傷を負うなど、耐用年数を迎えていないが、今後の在り方を検討する必要がある。

第2に、入居者の高齢化により、孤独死の例や玄関や廊下に十分なスペースがないことから、身体が不自由になられた際に、生活が不便となる場合が見受けられる。

3 交通安全について

問 議員

①自動車事故防止対策について伺う。
②自転車事故の推移について伺う。

③ヘルメット着用の努力義務の周知について伺う。

④ヘルメット購入費用助成について伺う。

答 町長

①引き続き啓発活動に取り組むことや、通学路安全点検などの機会を捉え、状況の把握に努め、必要な対策に取組みたい。

②令和2年以降では令和3年に1件発生している。

③県、警察庁作成のチラシや

リーフレット等を庁舎の窓口に設置し、周知を図っている。

④県内でも助成制度の導入は数団体と伺っている。近隣市町村の動向や住民ニーズの把握等に努め、検討したい。

4 通学路の安全対策について

問 議員

①通学路危険箇所整備について伺う。
②安全対策費用を国費補助する「個別補助制度」の活用について伺う。

③令和4年度は21か所の危険箇所があり、現時点で19か所が改善された、もしくは改善に向け着手している。未実施の2か所は、警察が所管する横断歩道や停止線の再表示である。

②1路線が該当することから整備促進に努めている。

5 教育環境の整備について

問 議員

①小・中学校の交通対策について伺う。
②制服のリニューアルについて伺う。

答 教育長

①各学校では、交通安全教育を年間計画に位置づけ、特別活動等で児童・生徒に指導するとともに、日々の教育活動の中でも交通安全を啓発している。

町は、保護者、学校等の要望及び指摘を受け、危険箇所を指定し、関係機関等と改善に努めている。

②例年、卒業生に寄附をお願いしているが、なかなか集まらない。保護者等からのリユースのニーズは少ないものの、予備として確保する必要があると考えている。

池沢 俊雄 議員（一問一答方式）

1 自治会からの要望事業の実施はどのような基準で採択されているか、また過去5年間の要望事業の予算額の推移について何う

答 町長

要望の実施基準は、要望内容を調査した上で内部会議により公共性や緊急性を基に過去の経緯や財源の確保など様々な観点から協議を行い、方針を決定し、書面にて回答している。その後、事業ごとの実施計画等に位置づけを行い、予算の措置が整えば事業実施の運びとなる。

過去5年間の要望書の総数は年間30件から40件であり、うち4割程度が道路や水路などの施設整備に係る内容となっている。

過去5年間の予算額は、案件が維持的な軽微なものから、事業期間が長期にわたる

案件など多岐にわたるため、要望全体に対する予算額を示すことは困難だが、道路改良など建設環境課所管の要望による事業予算の概数は、

平成30年度が2,600万円、31年度が2,000万円、令和2年度が1,900万円、3年度が500万円、4年度が1,000万円。

産業振興課の農道関係の予算は、平成30年度が600万円、平成31年度が600万円、令和2年度が600万円、3年度が300万円、4年度が270万円である。

問 議員

要望をされたものがどうなっているのか地元の方は関心があるので、方向性が見えた時点で回答いただけないか。

答 企画財政課長

お待たせしている関係者の皆さんには申し訳ない気持ち

である。
どこまでできるかということとは一旦預からせていただきたい。

2 県道日吉誉田停車場線の拡幅に係る県当局への要望の経過と今後の方針について、また、広域最終処分場の県道との取付工事及び町道改良工事の年次計画について何う

答 町長

主要地方道市原茂原線の刑部バイパス事業が完了し、針ヶ谷地先の交差点局部改良にも着手していただいていることから、現在県への要望活動として、日吉誉田停車場線の全線改築事業化を第1順位として要望を行っている。

加えて、県土整備部、長生土木事務所が町に対し行う事業説明の際には、当路線の交通安全事業を主体としつつ、全線改築の重要性を強く要望している。

また、沿線には広域最終処分場も建設されることや、国

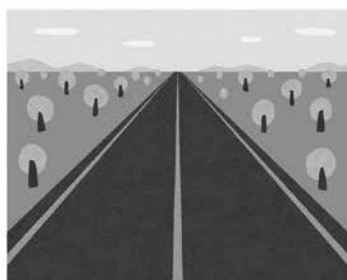
府里地先以北については地籍調査における登記も終了し、事業費の縮減、事業期間の短縮が図られることから引き続き強く要望していきたい。

広域最終処分場と県道日吉誉田停車場線との取付工事及び町道改良工事の年次計画について、現在、町道の1153号線は、県道に対し交差角35度程度で約7%の勾配で交差していることから、道路構造令に基づき交差角を78度にし、県道から25メートル区間に2.5%の緩勾配区間を設け、おおむねこの区間で県道の縦断勾配に合わせ横断勾配を変化させ擦りつける。道路構成は、車道幅員4メートル、歩道幅員2.5メートルの全幅員9メートルを基準としており、県道から処分場入り口までは車道幅員をプラス1メートルの5メートルとしている。

また、県道交差点の関係や施設場内の計画高さの関係から、4メートルから5メートルの高盛土区間がある。

今後は、広域市町村圏組合環境衛生課が主体となり、施設と合わせて令和8年3月末の完成に向け工事を実施する予定である。

なお、町としては、事業区域外の町道1153号線について、上味庄地区までの間を今後一部組合の負担の下、今年度から測量に着手し、国庫補助事業を活用しながら令和9年度の完成を目標に整備を図っていきたくと考えている。



神崎 清美 議員（一問一答方式）

1 人口減少について

問 議員

人口減少について、少子高齢化に拍車をかけるかのごとく、若者の町外移住が増加していますが、その原因と対策をどのようにお考えか伺う。

答 町長

大学や専門学校など、若者が進学等により地元を離れることについては、地域性の問題からやむを得ないものと思っている。

その上で、働く場所、大学、専門学校などが無い、または不足していること、また、交通インフラの不足、都市部への憧れ、地元での活躍の場が限定的であると感じているなど、様々複雑に重なり合っているものと思われる。

対策としては、この町の総合力が問われていると理解し、そのことから、長柄町

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた理念・目標及び80の戦略的事業を一つ一つ着実に実行し、積み上げた政策との連携を図っていくことが重要であると考えている。

問 議員

若者を町内に定住、または町外からの移住を増やすために、小規模でも優良企業の誘致、若者の雇用の場を町内に設ける対策はあるか。それとも、既に取り組んでいるか伺う。

答 町長

本町では、平成28年から千葉銀行地方創生部と、県内外の企業動向などについて定期的に情報交換をさせていただいており、本町の地勢・環境に合った企業とのマッチングなど、調整役を担っていたいただいている。

また、千葉県商工労働部企

業立地課と共に、引き続き情報を共有し、優良企業の誘致に努めていきたいと考えている。

企業へのアプローチは、本町には、まとまった町有地や立地候補地がなく、またコロナ禍だったこともあり、近年、町から特定の企業への積極的な誘致活動は行っていない。状況も変わったので、今後は千葉県などからの情報を参考に、企業との意見交換など、立地に向けての活動も行っていきたい。



あなたも議会を傍聴しませんか

(次回定例会は令和5年9月14日(木)からの予定です。)

議会本会議の会議録を長柄町ホームページにて公開していますので、是非ご覧ください。

町民の皆様方のご意見、ご要望等ありましたら議会事務局までご連絡いただければ幸いです

第1回臨時会

令和5年長柄町議会第1回臨時会は、6月30日に開催されました。
提出された議案等は、議案3件で原案のとおり可決されました。

第1回臨時会 議案等審議結果一覧

議案名	議員名	結果			佐久間 繁英	神崎 清美	高橋 智恵子	岡部 弘安	鶴岡 喜豊	池沢 俊雄	三枝 新一	本吉 敏子	星野 一成	柴田 孝	古坂 勇人
		議決 結果	賛成	反対											
議案第1号	契約の締結について（道路交通安全施設等整備事業補助 町道3033号線道路改良工事）	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第2号	契約の締結について（長柄町防災行政無線親卓設備更新工事）	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第3号	契約の締結について（日吉小学校屋内運動場天井改修工事）	原案可決	10	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は裁決に加わらないため「—」で表示

契約の締結

議案第1号 契約の締結について（道路交通安全施設等整備事業補助 町道3033号線道路改良工事）

起点部の路体築堤及び切割部の歩道舗装と、昨年度の継続区間での道路附属施設及び車道舗装等を実施するものです。指名競争入札を実施した結果、6,380万円で株式会社三橋土木（長柄町）が落札し、仮契約を締結したため、議会の議決を求めました。

議案第2号 契約の締結について（長柄町防災行政無線親卓設備更新工事）

平成22年にデジタル化を実施した防災行政無線の親卓が既に耐用年数を超え、補修用部品の枯渇などから、機能を維持することが厳しいため、機器の更新を行うものです。一般競争入札を実施した結果、1億1,330万円でスイス通信システム株式会社（千葉市）が落札し、仮契約を締結したため、議会の議決を求めました。

議案第3号 契約の締結について（日吉小学校屋内運動場天井改修工事）

法改正に伴い、日吉小学校屋内運動場の天井等の脱落防止対策を行うため、吊り天井と言われる特定天井の撤去及び屋根下地材に吸音材の吹付塗装、防球・防護ネットの設置、電気設備、体育設備等の改修工事を実施するものです。一般競争入札を実施した結果9,845万円で神明建設株式会社（茂原市）が落札し、仮契約を締結したため、議会の議決を求めました。